

# 突然、犯罪に巻き込まれたら？



## ワークI どう思いますか？

- あなたが窃盗の被害にあい、家の中が荒らされていました。このような被害にあったら、どのような気持ちになるとおもいますか？

-----

-----

-----

## ワークII 考えてみましょう！

- 被害後に生じる二次的被害（更なる被害）について、どのようなものがあると思いますか？また、あなたが被害者で、上記イラストの会話を聞いたら、どのような気持ちになるとおもいますか？

-----

-----

-----

## ワークIII 語り合えましょう できること！

- 犯罪被害にあった人が地域で安心して暮らすために、できることは何だと思えますか？

-----

-----

-----

あなたならどんな気持ち?

資料① 被害直後の精神状態の例

不安だった

おどろいた! 信じられない! と思った

はずかしかった

どこかに行ってしまいたいと思った

誰かそばにいてほしかった

人に会いたくないと思った

自分を責めた

運が悪いと思った

犯罪被害実態調査研究会資料を基に作成



犯罪に巻き込まれたのは、本人の責任ではないのだ!

犯罪被害者を傷つけてしまう言葉

- ・ 気を強く持って、前向きに生きましょう。
- ・ あなた一人が苦しいのではありませんよ。
- ・ つらいことは、早く忘れましょう。
- ・ あなたは、強い人だから大丈夫ですよ。
- ・ あなたにも悪いところがあったのでは? など

被害者が受ける二次的被害ってどういうもの?

二次的被害とは、犯罪被害者に被害後生じる様々な問題を言います。

資料②

★二次的被害の状況の例★

- ◆ 精神的ショックをうけた
- ◆ 身体の不調をきたした
- ◆ 治療費などの経済的負担
- ◆ 仕事を休む、またはやめざるを得なかった
- ◆ 生活が苦しくなった
- ◆ マスコミから誤った報道をされた
- ◆ 検察などの事情聴取に対応を求められた
- ◆ 加害者側の弁護士と話した
- ◆ 裁判所の手続きで対応を求められた
- ◆ 家族のまとまりが乱れた
- ◆ 転居した
- ◆ 近所の人に変な目でみられた
- ◆ 友人、同僚等周囲との関係が変化した
- ◆ インターネット上に個人情報勝手に書き込まれた

犯罪被害実態調査研究会資料を基に作成

語り合いましょう!

この季節がくると事件のことを思い出してしまう...

一步、行動に移してみませんか?

- 被害者の気持ちの変化に寄りそう
- 時には、ふつうに接することも大事なかな?
- 行政機関や民間支援団体など相談窓口の紹介
- その人にあった「関わり方」が大事だね!
- こころない噂をたてない
- 被害者の立場に立って考えることが大事だね

犯罪被害者とその家族が安心して暮らせるよう、寄り添うという気持ちを持って地域づくりを考えましょう。